

■2020 年度 S 日程卒業見込特別入試・一般入試

「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

〔問〕は、問題文を読解し、著者の主張を正確に把握した上で、いじめ問題を克服するためにはどのようにすればよいかについて考察し、自分の見解を根拠を示して論理的・説得的に論述する能力を問うものである。受験者には法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして論理的な文章表現力を求めている。

【解説】

1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中や余白に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書くなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2 〔問〕について

著者は、いじめがなくなる理由について、いじめが人間の本能であるからでも、学校や家庭における道徳教育や心の教育に問題があるからでもなく、「面白い」からであると述べて、その面白さは優越感、ストレス解消、ゲーム感覚の3つの要素により構成されていると指摘している。このような著者の見解を正確に理解した上で、それを敷衍したり、それとは異なる見解を提示したり、反対したりしながら自らの見解を明らかにして、問題解決へと向けた取り組みを検討することが求められる。単にいじめの解決策に関する自説を展開するだけでは、問題文に対する問いに答えたことにはならない。著者の主張との関連において問題を考察して、自説を展開してほしい。

以 上